済生会だより ならしの

千葉県済生会習志野病院 院外広報誌

No.26 2013.春号

Contents

- ひとつになりました
  （医療連携室･福祉相談室･退院調整看護室）
- かかりつけ医をお持ちですか?
- 糖尿病講座のご案内
- お知らせ

今号の表紙

さくらと病院建物
撮影：広報課

いのちに寄り添い100年。
そして、今日も

病院の理念

患者さんの権利を尊重し、共に考える良質な医療の提供、すなわち患者さん指向の医療をめざし、もって地域住民の健康と福祉の増進に努めます。

病院の基本方針

- 職員が誇りを持ち、患者さんが満足･安心できる効率的な医療の提供に努めます。
- すべての診療情報を患者さんにお伝えします。
- 信頼される医療を行うために研修、研鑽をいたします。
- 地域の医療機関との連携のもとに中核病院としての役割を果たします。

医療連携室　福祉相談室　退院調整看護室　が

ひとつになりました！

当院では、病院・診療所と密接な連携を取り合う医療連携室、患者さんやご家族の様々な相談や退院をお手伝いする福祉相談室、そして入院患者さんの在宅療養への支援のサポートする退院調整看護室があります。

この度、2月12日に福祉相談室を改修して、医療連携室と退院調整看護室とがひとつの部屋で業務をおこなうことになりました。ひとつの部屋で看護師、医療ソーシャルワーカー（MSW）、事務員等が情報を共有にすることにより、患者サービスの充実はもとより、地域医療・保健・福祉・介護との連携の強化を目標として、院内の各部門と協力して活動していきます。今回は、この3つの部署の紹介をいたします。

医療連携室・退院調整看護室のスタッフ

福祉相談室のスタッフ

各部署からのご挨拶

医療連携室

日頃より当院業務並びに医療連携業務に、ご高配を賜り誠にありがとうございます。さて、連携室は、2月12日から本館1Fの福祉相談室に引っ越しました。医療連携室の構成は小林室長（副院長・別室）、事務職員3名で構成しています。新しい事務室は福祉相談室と一緒になり賑やかになりました、利点を生かして行きたいと思います。お近くにお越しの節に、お訪ねいただければ幸甚です。

（課長 青柳秀雄）

福祉相談室

2月12日から、福祉相談室は医療連携室・退院調整看護室と同じ部屋になり、患者さんがスムーズに受診・入院・退院ができるよう連携を取る体制となりました。福祉相談室は4名の医療ソーシャルワーカーがいます。日々変わる社会制度を把握しながら、患者さんに適した療養環境に導けるよう努めます。今後とも、よろしくお願いします。

（課長 村田智美）

退院調整看護室

退院調整看護師の茂木千夏です。昨年より退院調整の担当をさせていただいています。

まだまだ半人前ですが、一人でも多くの患者さんが笑顔で自宅に帰られるよう支援していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

（師長 茂木千夏）

当院の地域医療連携体制

医療連携室

医療連携室はこれまで、医療機関の皆様との「顔の見える連携」、「より良い信頼関係の構築」、「紹介患者さんの増加」に向けた業務を中心としてまいりました。連携医療機関の皆様の、ご指導とご協力を頂き、少しずつ前進をしていると思っております、誠にありがとうございます。

また、本年度は「地域医療支援病院」の名称使用の承認を目指しております。その一環として、各医療機関の皆様に、「連携医療機関登録」のお願いを申し上げております。一層の連携強化の糧にさせていただいております、ご登録の程どうぞ宜しくお願い申し上げます。

当院では連携強化に向けて、連携医療機関の皆様に当院施設の共同利用をしていただくことを含め病院全体で「医療連携」に取組んでまいります。医療機関の皆様や住民の皆様に、信頼され、必要とされる医療機関を目標にしてまいります。今後とも、より一層のご指導賜りますよう心よりお願い申し上げます。

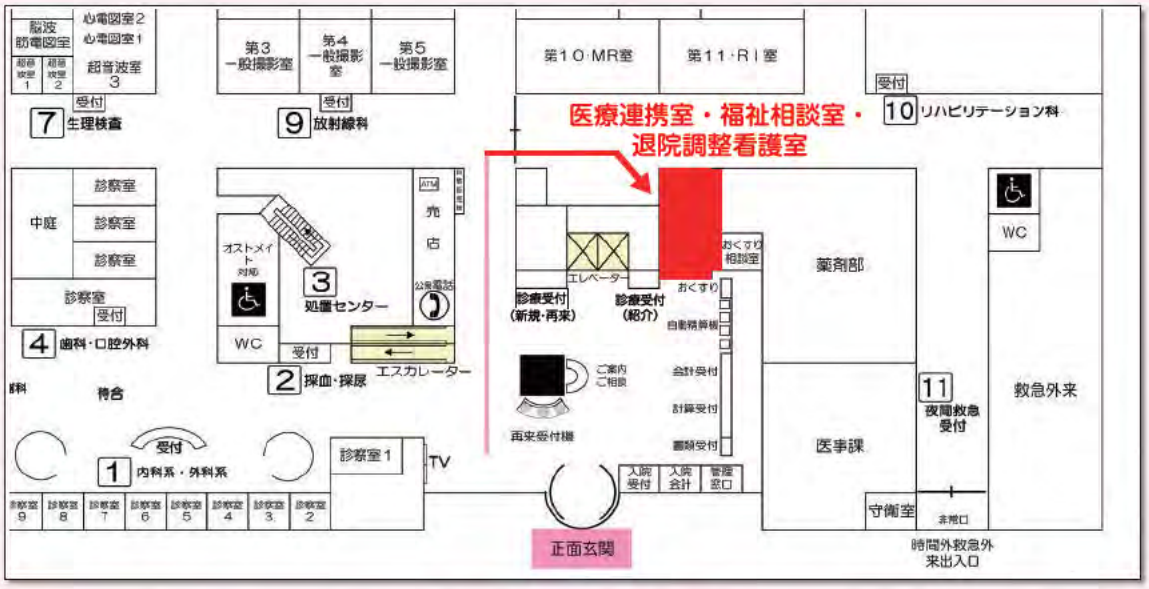
福祉相談室

仕事の内容としては①入院や外来などの療養中に生じる医療費や生活費など経済的なこと②病気や障害にともなう不安や学校、仕事、家庭生活などにまつわること③他医療機関への受診や入院に関すること④退院後の生活に関すること⑤保険や手当、社会福祉制度や施設の利用について⑥その他心配なことなどです。病気や怪我をして初めて不安になることがいろいろありますが、それらの心配を軽減するために、各種制度やサービス等をご案内しています。また、社会福祉法人による無料低額診療の申請窓口でもあります。秘密厳守。相談は無料ですので、お気軽にご相談ください。

退院調整看護室

退院調整看護師は、退院後も病気や障害などと向き合って生活していくことになる患者さん・ご家族のサポートをするために、院内では医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、理学療法士等とまた地域のケアマネジャーや訪問看護師と連絡を取り合い、できるだけ患者さんのご希望に添って、その人らしい生活が送れるように環境を整える役割を担っています。

案内図



連　絡

代表電話　**047−473−1281**

FAX番号

福祉相談室　**047−473−1275**

医療連携室　**047−473−1286**

ご相談下さい

かかりつけ医をお持ちですか?

かかりつけ医って何ですか?

かかりつけ医とは患者さんの住居地域でご自身の体のことなどをいつでも気軽に相談したり、診察したりできる身近なお医者さんを指します。我が国の医療政策ではこの役割を開業医(診療所・クリニック等)の先生とされています。医療政策上、当院のような地域における中核病院ではかかりつけ医からの紹介を受けて、専門的な検査・治療を必要とする患者さんを診察したり、救急車等の受け入れなど救急医療に特化することが求められています。

かかりつけ医受診と紹介状持参のご協力をお願いします。

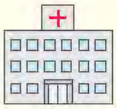
当院に受診中の患者さんには、「外来待ち時間が多い」や「外来予約が取れない」などのお言葉をいただいております。このご意見には密接な関係があり、外来待ち時間を減らすべく、予約枠に幅を持たせると1日あたりの予約患者数が減るために予約が取れないといった状況がうまれます。逆に予約枠を増やすべく予約枠の幅を狭めれば、今度は待ち時間が増えるということになります。当院を信頼して受診されるのは大変嬉しいことでありますが、是非患者さんにおかれましては、かかりつけ医を持っていただきたいと思います。もちろん、当院は開業医の先生との連携をしっかり持っておりますので、当院の受診が必要とかかりつけ医が判断すれば、紹介状をもとに適切な医療をさせていただきます。また症状が急変したような場合にはいつでも当院を受診することができます。その場合はできる限りかかりつけ医からの紹介状の持参をお願いします。この紹介状により当院の医師はより適切な医療をおこなうことができます。

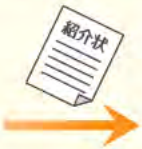
かかりつけ医がないという方は

かかりつけ医がないという方は、患者さん住居近くの開業医をご紹介することができます。1階「診療受付(紹介)」までお申し出ください。

診療所(かかりつけ医)
日常の診察、投薬等
生活習慣病に対する
中長期にわたる治療・
ケア

当院
専門的な治療・検査等
救急車等の救急患者
受け入れ24時間





診療所(かかりつけ医)
症状が安定したら
再び診察所(かかり
つけ医)へ

糖尿病講座のご案内

当院では、2ヶ月に1回糖尿病講座を開催しています。参加費は無料ですので、是非ご参加ください。なお、参加人数に制限がありますので、事前に予約をお願いいたします。

お申し込み・お問い合わせは、
内科外来まで

5 月の講座

日　時　5月24日(金)　14:00〜16:00
場　所　当院8階講堂
テーマ　糖尿病性神経障害
　　食事療法入門
　　日常生活の注意点
　　(フットケア・シックデイルール・災害への備え)
　　検査値の見方

お知らせ

★ 新規診療科 呼吸器外科

4月より呼吸器外科が新しく診療科として加わりました。診療日・受診や予約方法については病院スタッフにお問い合わせ下さい。

★ 骨粗鬆症外来スタート

4月より新たな専門外来として骨粗鬆症外来をはじめました。当院のかかりつけ患者さんを対象として、ステロイド性骨粗鬆症を中心とした治療をおこないます。

★ 6階西病棟オープン

平成18年4月に新病院としてスタートして長らく使用休止しておりました6階西病棟(45床)が5月にオープンすることになりました。オープンにより病床数は400床となります。

お知らせ　「済生会だより　ならしの」が
No11(2009年夏号)より病院ホームページからご覧になれます。

発　行／千葉県済生会習志野病院
〒275-8580 千葉県習志野市泉町1-1-1　TEL 047-473-1281（代）　FAX 047-478-6601
ホームページ　http://www.chiba-saiseikai.com